

市民の皆さんへ

私たちの身の回りには、多くの公共施設があります。数多くの立派な公共施設が身近にあれば、確かに豊かに感じます。できるだけ、公共施設を今までどおり維持し、また、今まで以上に充実させたいと考えることはおかしいことではありません。

しかし、鎌倉市の公共施設の多くは、建築後30年を経過し、老朽化が目立ってきています。施設を維持し、修繕し、建て替えるには莫大な費用がかかります。

今回試算したところ、公共施設へ投資する予算を現在の2.8倍にしないと、今の施設さえ維持できないことが明らかになりました。何を優先して維持していくかを考えなければなりません。この問題は非常に難しい問題であり、簡単に決められるものではありません。

しかし、難しいからといって頭を抱えているだけでは老朽化はさらに進み、建物が壊れていく危険性が増していきます。2012年12月に起きた中央自動車道笹子トンネル事故は決して他人事ではありません。鎌倉で起きるかもしれません。起きてからでは遅いのです。

そうした意味で、今回、市が公共施設マネジメントに着手したことは、まさに時機を得たものであります。この難しい問題に正面から取り組もうとする市長及び事務局の真摯な姿勢に共鳴し、私たち鎌倉市公共施設再編計画策定委員会の委員は、それぞれの専門分野での知識を生かし、できるだけ公共施設の機能を維持しつつ、最大限、財政負担を減らす方法を考えました。この基本方針（案）はその成果です。

市民の皆さんにとっては、今までの発想を替えなければならない点もあると思います。しかし、皆さん自身の生命や財産を守り、将来の市民となる子どもたちに健全な財政を残していくためには、絶対に必要なことだと考えます。市民の皆さんの賢明かつ責任ある判断を期待いたします。

鎌倉市公共施設再編計画策定委員会

委員長 **根本祐二**